

## 令和3年度全国がん検診指導者研修 eラーニング プログラム

- 目的： がん検診（住民検診）の指導者に必要ながん検診精度管理の知識とスキルの習得を目指します
- 対象： 都道府県のがん検診担当者（行政担当者）及び都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会の胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会の関係者（部会長、副部会長等）
- 申込期間： 令和3年9月15日（水）～11月30日（火）
- 受講期間： 令和3年9月15日（月）～12月15日（水）
- 申込方法： 詳細はがん情報サービスをご参照ください。  
 がん情報サービス・医療関係者向け情報 > 研修 > 行政担当者研修 > 全国がん検診指導者研修  
[https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/index.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/index.html)

プログラム：

講義	講義時間	講師
1. がん検診に関する基本事項	15分	高橋宏和（国立がん研究センター）
2. 日本のがん検診	15分	中山富雄（国立がん研究センター）
3. 科学的根拠に基づくがん検診の実施	20分	中山富雄（国立がん研究センター）
4. 適切な精度管理の実施	-	-
(1)がん検診の精度管理（目的、手法）	20分	斎藤 博（青森県立中央病院）
(2)都道府県/市区町村/検診機関の役割		
(3)がん検診指導者に求められる役割、及び今後目指すべき方向性	10分	高橋宏和（国立がん研究センター）
(4-1)各論：胃がん検診の要点※	40分	加藤勝章（宮城県対がん協会）
(4-2)各論：大腸がん検診の要点※	30分	松田一夫（福井県健康管理協会）
(4-3)各論：肺がん検診の要点	45分	佐川元保（東北医科薬科大学）
(4-4)各論：乳がん検診の要点※	45分	笠原善郎（福井県済生会病院）
(4-5)各論：子宮頸がん検診の要点※	40分	森定 徹（杏林大学）
5. トピック1：CODIV-19 のがん検診への影響	5分	高橋宏和（国立がん研究センター）
6. トピック2：プロセス指標基準値改定の動きについて	25分	雑賀公美子 （佐久医療センター/国立がん研究センター）
7. 適切ながん検診実施を支援する取組み （検診実施管理支援室が発信する情報のご紹介）	10分	町井涼子（国立がん研究センター）

※ 令和2年度全国がん検診指導者研修（eラーニング）の講義動画を使用しています。

問い合わせ先： <eラーニングに関する問い合わせ>  
 国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）  
 TEL:0422-24-6818（平日 10:00～12:00、13:00～16:00）  
[お問い合わせフォーム](#)

<研修内容に関する問い合わせ>  
 国立がん研究センター がん対策研究所 検診実施管理支援室  
 E-mail：[seminar-scr@ncc.go.jp](mailto:seminar-scr@ncc.go.jp)